



第 2773 回例会 No.29

2026年(令和8年)4月3日(金) 晴
「セイリング-幸せになるために-」

出席報告

会員 67 名中 51 名 出席率 76.12 %

会長挨拶

会長 室原 國彦さん



皆様、こんにちは。先日のクラブ・リーダーシップ・セミナーにご参加いただいた、皆様お疲れ様でございました。

今年度もいよいよ終盤に入りました。これまで創立60周年記念年度で取り組んできた、すべての事業をしっかりと完成させ、次年度へとつないでいく、大変重要な時期となっております。

本日は、先日5名で行ってまいりました能登での奉仕事業について、ご報告を兼ねてお話しさせていただきます。

藤掛さんは、約1年半前から、能登復興支援事業を金沢みなとロータリーとの共同事業として、私たちと何度も現地に足を運びながら、準備と計画を着実に進めてくださいました。その中で、次年度の社会奉仕委員長としても、これからも金沢みなとロータリーと共に、能登の復興支援を続けていきたいと、非常に熱く語っておられたのが、今でも強く印象に残っています。その矢先の突然の訃報で、私たちもそうですが、金沢みなとロータリーの松井会長、能田幹事も大変驚かれ、残念がられました。それではここで、今回の能登復興支援事業の実施場所について、少しご説明させていただきます。金沢から北へ進み、能登半島の先端・輪島市に入ります。その中で、内陸の町野地区では桜の寄贈・植樹を行いました。そして海沿いの白米千枚田でも奉仕事業を行います。この3大奉仕事業は、「千の光、千の未来プロジェクト」の名称で行います。一つ目は、もうすでに、昨年1月に実施されました、町野地区への布団乾燥機200台の寄贈済みです。二つ目は、今回我々が行った、同じく町野地区における「花を咲かせる支援」=千本桜プロジェ

クトとしての桜の寄贈・植樹を行ってまいりました。当日は、金沢みなとロータリーのメンバーの皆様はもちろん、多くの支援者の方々にもお集まりいただき、さらにテレビ取材も入る中で、非常に盛大に実施することができました。また同時に、桜フェスのイベントも開催されており、町野地区の住民の皆さまが笑顔で楽しまれている姿がとても印象的でした。

三つ目、白米千枚田への「光をともし支援」として「あぜのきらめき」の再開支援。我々は、LEDロープライト・イルミネーション購入をサポートします。その千枚田内にある、千枚田ポケットパークに今回の奉仕事業の記念碑設置を予定しています。

そして、来月の5月14日・15日の家族旅行では、白米千枚田、そして町野地区のもとやスーパー訪問・見学する予定です。宿泊旅館は七尾市和倉温泉です。有名な「おもてなし日本一の宿」と知られる加賀屋は、今回の被災を受けて取壊しが決まりました。直ぐ近くに位置する我々が宿泊する「のと楽」は被災を免れた旅館になります。金沢みなとロータリーの方々、我々は「のと楽」の方が良いと思っていますと言われていました。

来月5月の家族旅行では、今回の奉仕活動の現地を、実際にご覧いただくことで、能登の現状、そして私たちの取り組みの意味を、より深く感じていただけるのではないかと考えております。本当に、今回、友好クラブの金沢みなとロータリークラブの皆さまには、本当に温かく迎えていただき、一緒に行動を共にしていただき、感謝の気持ちを持って、60周年記念の3つの奉仕事業を、無事成し遂げる予定です。藤掛さんがつないでくださった思いは、決して途切れていないと思います。私たち名古屋みなとロータリークラブとして、これからもその志を大切にしながら、心の通う奉仕活動を続けてまいりたいと思います。以上会長挨拶でした。

最後まで奉仕を買った藤掛さん 「合掌」
能登復興支援事業に情熱を注いで頑張って頂きました。





故 藤掛誠一郎さん葬儀のご報告

会長エレクト 猪子 恭秀さん

先週の藤掛さんのお通夜および告別式に参列された会員の皆さま、お疲れさまでした。

受付を務めていただいた親睦活動委員会の皆さま、お疲れさまでした。

藤掛さんのご香典につきましては、クラブ内規に定めがあります。

【クラブ会規】

9. 慶忌の(1)のア

会員死亡の場合は、クラブより弔電、弔辞、生花を呈する。

幹事は、ガバナーに連絡して弔電を請う。

会員より 3,000 円を徴収して総額をクラブにて香典として呈する。香典返しは略する。

藤掛さんのご葬儀には、クラブより弔電および生花を呈し、鈴木ガバナーからの弔電も届きました。

香典につきましては、クラブ会員分の香典を、私がお預かりして、お通夜の受付にお届けしました。

会員の皆さまにおかれましては、藤掛さんの香典のご負担をよろしくお願いいたします。

藤掛さんの葬儀の喪主藤掛憲佳さんからの「お礼の言葉」がありましたので、以下、読み上げさせていただきます。

「ゆっくり休んでね」

若くして会社を立ち上げてからこれまで、会社の利益だけを追い求めるのではなく地域にも貢献したいと熱い思いを持ち、一心に駆け抜けてまいりました。懸命に働き、ボランティアにも精を出し、頑張っていた姿ばかりがまぶたの裏に浮かびます。家に帰ってくると、リビングの夫専用の椅子に腰掛け、テレビを見ていると思ったらすぐに寝てしまい・・・起こしても起こしても起きない、そんなこともしょっちゅうでした。

息抜きとなっていたのは、大好きな野球観戦でしょうか。昔は自身もプレーしていましたが肩を痛めてしまい、それからは大ファンだった阪

神タイガーズの応援に夢中でした。また、我が家の愛猫のことも大変大切にし、その可愛らしい様子を心を癒やされていたようです。

強く、優しく、家族を頼もしく支えてくれた良き夫であり良きお父さんでした。五十八年間、走り続けてきましたから、向かう先ではどうかゆっくりと休んでほしい・・・今はただそう願うばかりです。

夫 藤掛 誠一郎は、令和八年三月三十一日、満五十八歳にて、真心を尽くした生涯の幕をおろしました。

生前多大なるご厚情を賜りました皆様へ、心より感謝申し上げます。

本日はご多用中ご会葬いただき、誠にありがとうございました。

略儀ながら書状をもってお礼申し上げます。

喪主 藤掛 憲佳

ニコBOX

(福西副幹事、クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーの報告よろしくお願ひします。) 室原会長 (先日のクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーに出席していただいた皆様ありがとうございました。福西副幹事、報告よろしくお願ひします。) 沼野幹事 (福西さん、クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー報告よろしくお願ひします。) 猪子さん

本日合計	43,000 円
累 計	1,744,776 円

幹事報告

【掲示物】

- ・ロータリーの友誌 2026 年 4 月号掲載記事について
- ・地域安全対策ニュース
- ・ジェニファー・ジョーンズ 2026-27 年度ロータリー財団管理委員長のご来日について

★出欠リスト

- ・5月8日開催 中村吉夫さん お別れの会
- ・5月14(木)~15日(金) 能登復興支援『千の光、千の未来 プロジェクト』と和倉温泉旅行
- ・6月26日(金)~28日(日) 釣りゴルフ in Okinawa

クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー報告

2026-27 年度 幹事 福西 康和さん



2026年4月5日(日)に名古屋マリオットアソシアホテルで行われましたクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーについて報告します。クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーは昨年まで

地区研修・協議会と言っていたもので「次年度のRI会長、地区ガバナーの方針、および各委員会の方針を確認する会議」です。

2026-27 年度国際ロータリー会長 オラインカ・ハキーム・ババロラ氏



国際ロータリー会長メッセージ

【インパクト=未来に残る価値】

私たちが取り組む奉仕活動や会員増強をはじめとする多くの事業は、未来永劫にわたり次世代へと継続されていくべきものです。これらの活動を通じて、私たちは「自分自身の中にも持続可能な変化を生み出す」という意識を持つことが大切です。

自分自身を変えることができれば、クラブや地区を変える力となります。さらに地域社会を変えられれば、世界で、地域社会で、自分自身の中で、持続可能なインパクトを生み出すことができるのです。

2026-27 年度第 2760 地区ガバナー國府谷俊盛氏



2026-27 年度地区方針

「元気で なかよく 楽しく そして高潔に」

～新たな視点からの挑戦～

全てのロータリアンが「元気で」ご自身の職業を全うされることを願います。

そして、ロータリーの仲間をはじめ、企業内そして地域の方々親睦を深め、「なかよく」過ごされ、ご自身の思い、所属されるロータリークラブの思いを具現化する奉仕事業に「楽しく」参加されることを願います。

こうした思い、行動に「高潔さ」を付加することがロータリークラブ、ロータリアンの姿と考えます。

地区重点項目

【①職業奉仕】

自らの職業に誇りをもち、自らの職業をとおして社会貢献することがロータリアンの第一義的使命であります。

ロータリーの「中核的価値」と「4つのテスト」を、それぞれの職場で実践することで社会貢献して下さい。

「中核的価値」

奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ

「4つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

【②日本の子どもたちのために】

子どもたちを取り巻く環境はますます悪化しています。

日本の(地域の)子どもたちの現状をご理解いただき、各クラブでの奉仕活動に、子どもたちへの支援を取り入れていただきたい。

【③クラブの活性化・会員増強】

会員増強はクラブの活性化が目的であり、増強はその手段であり目的ではありません。とは言え、会員数が減少するとクラブの疲弊が進行することは自明の理であり、積極的な増強対策が必要となります。

クラブの歴史、個性を尊重しつつ会員増強に関する多くのリソースを活用することを地区とともに進めていきましょう。

クラブを愛し、会員同士の親睦を深めること、対外的にもオープンでホスピタリティの高い雰囲気づくりが、クラブの活性化につながります。

「クラブ奉仕」が身近で、行動しやすいロータリー活動です。

【④青少年、職業人の育成と平和構築】

地区予算の80%は青少年の育成など人材育成に充てられています。ロータリー7つの重点分野(平和の推進、疾病との闘い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地域経済の発展、環境の保護)を推進する有能

な人材の育成を。ローターアクトクラブ、米山記念奨学金などへのご理解、ご協力をお願いします。

⑤ポリオ根絶・ドネーション（寄付）

ポリオ根絶がロータリーの最優先事項であることは言うまでもありません。最後の一押し（LAST MILE）を完遂することと、ワクチン接種活動に加え監視活動の継続も重要視されます。

ロータリー精神の一つが「I Serve」です。それぞれが、それぞれの考え方、それぞれの立場、それぞれの経済力を考慮し「I Serve」を。

年次基金（一人当たり 150 \$）ポリオプラス（30 \$）恒久基金（20 \$）へのご協力をお願いします。

以上の RI 会長メッセージと地区ガバナー方針を基に、次年度、猪子年度の運営にあたります。皆さま、ご協力のほどよろしくをお願いします。



第5回 クラブ戦略委員会議事録

とき 4月10日（金）13:40～
ところ 名古屋マリオットアソシアホテル
17階「桐」
出席者 寺本 杉江 猪子 室原
橋本(美) 北川 6名（敬称略）

1. 会長挨拶 室原会長
⇒ 本日は「3年間の目標」「退会防止について」取り上げます。闊達な議論をお願いしたい。
2. 本日の討議内容について 寺本委員長
⇒ 本日から、北川会長ノミニーにも出席していただきます。よろしくをお願いします。
3. 「3年間の目標」について 寺本委員長
⇒ RIは、2024-25年度をトライアル期間の初年度とした「3年間の目標」を設定し、クラブセントラルへ目標を入力し管理することを呼び掛けている。これに基づき棚橋年度、室原年度、猪子年度の目標を入力している。今年度の進捗と、次年度の目標の確認をしたい。

室原会長

・今年度は、ほぼ目標を達成している。次年度につなげていきたい。

猪子エレクト

・会員増強の目標人数は80人とする。それ以降、何人を目指すかは議論が必要である。
・他の項目は、当初の目標数字で良い。

4. 退会防止について 寺本委員長
⇒ 今年はこれまでに8人入会と多くの新会員に入会いただいているが、退会者が出ては会員増強につながらない。退会防止について議論したい。

次の意見が出た。

- ・出席状況を確認して、欠席の多い会員には幹事または、カウンセラーから事情を聴くなどの働きかけをする。
- ・頼られているという意識が大切なので、活躍の場を作る。
- ・例会時にテーマを決めてテーブルディスカッションを行い、世代間交流を図る。
- ・座るテーブルが毎回同じにならないよう工夫する。
- ・次年度は、合同委員会の開催などを計画し、委員会活動を活発化したい。

5. その他 寺本委員長

①カウンセラーの任期

- ・クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーや地区大会への新会員の出席義務も3年となっている。それに合わせて3年とする。
- ・理事会の承認を得る。

②例会の無断欠席について

- ・例会前に出欠を取っているが、連絡なしの欠席による食品ロスが、本年度ですでに24万円になっている。
- ・例会で、会長または幹事から現状を報告して無断欠席をしないように呼び掛ける。

6. 閉会挨拶 猪子会長エレクト
⇒ 年度内にあと1回当委員会がある。
よろしくをお願いします。

※次回会議予定 第6回 クラブ戦略委員会
2026年5月22日（金）13:40～



1 台北国際大会 ブース出展決定 & 分科会開催時刻変更

6月13日から17日まで開催される「台北国際大会（台北国際大会）」において、友愛の家でのブース出展が正式に決定しました。ブース番号は1106番です。会場マップ等の詳細が公開されましたら、改めてお知らせいたします。

ご来場いただいた方には、数量限定で記念グッズを配布予定です。当事業と米山学友の活躍を広く発信する貴重な機会となります。ご来場をお待ちしています。

また、6月15日（月）に開催が決定している当財団の分科会の時刻が変更となりました。開催時刻は11:00～12:00です。ご注意ください。

6月12日（金）には、台湾米山学友会主催の歓迎懇親会が、上海鄉村餐廳 承德本家で18時30分から開催されます。登録期間は4月30日（木）まで。詳細はQRコードからご確認ください。

台湾米山学友会主催 歓迎懇親会

6.12 ● 2026年6月12日（金）18:30～
● 上海鄉村レストラン 承德本家
● 参加費：NT\$1,600（¥8,000）/名

友愛の家 ブース出展

6.13 ● 2026年6月13-17日 09:00-18:00
● 台北南港展覽館(TaiNEX) ブース番号 #106
※お立ち寄りいただいた方には記念品をお渡しします【数量限定】

国際大会 分科会

6.15 ● 2026年6月15日（月）11:00～12:00
分科会タイトル 広がる基礎・つながる世界
～ロータリーとともに歩むロータリー学友の実践～

2 2026 学年度奨学生採用とオリエンテーション開催

2026 学年度の奨学生は 969 人となりました。新規採用者 682 人、継続者 287 人です（4月6日現在）。国・地域別では、中国 32.4%、ベトナム 13.9%、韓国 12.6%、ミャンマー 6.5%、インドネシア 5.0%、ネパール 3.8%、モンゴル 3.7%、マレーシア 3.5%、台湾 3.2%、スリランカ 2.4%の順となり、全54カ国の採用となりました。プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学生が914人（学部473人、修士282人、博士159人）、地区奨励奨学生が25人、クラブ

支援奨学生が12人、海外志願者対象奨学生が17人、海外学友会推薦奨学生が1人となっています。4月月末までに新規採用者に対して各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが出会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。締約書に署名した後、正式に米山奨学生となります。新たな奨学生たちを、どうぞ温かくお迎えください。

3 寄付金速報 — 今年度も残り2カ月半 —



3月末までの寄付金は前年同期と比べて1.8%減（前通寄付金：1.0%増、特別寄付金：3.2%減）、約1,950万円の減少となりました。当月は、1,000万円の寄付を含む大口寄付が3件あり、3月単月の寄付額は2000年度以降初めて7,400万円を超えました。皆さまからのご支援に厚く御礼申し上げます。引き続き、当事業へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

4 当財団への寄付により紺綬褒章を受章

長年にわたり、当事業に多大なるご支援を寄せてくださっている第2550地区宇都宮90RCの藤村 慎一氏が、2025年10月25日付で紺綬褒章を受章しました。

3月26日の同クラブ例会にて伝達式が行われ、出席した当財団の若林紀男理事長から紺綬

褒章に付する飾帯が授けられました。紺綬褒章は、公益のために私財を寄付し、その功績が顕著な個人または団体に対して天皇陛下より授けられる褒章で、当財団は2018年9月に紺綬褒章の公益団体認定を受けています。心よりお祝い申し上げます。

5 奨学期間を終え、新たなステージへ

卒業の時期を迎えた3月、全国各地で米山奨学生の奨学期間終了に伴う式典が開催され、多くの米山奨学生が新たなステージへと歩み始めました。今回は、国際ロータリー第2510地区の様子をご紹介します。



3月8日、札幌市内で米山記念奨学生終了式が開催され、米山奨学生17人をはじめ、ロータリー会員40人と米山学友2人が出席しました。式は、当財団の嵯峨義輝理事の挨拶で始まり、奨学生には終了証書が、カウンセラーには感謝状がそれぞれ授けられました。その後の歓迎会

では、奨学生とカウンセラーがこれまでの思い出や感謝の言葉をスピーチし、会場は心温まる雰囲気になりました。また、北海道大学に在籍する奨学生が、同大学史上初となる外国人留学生の首席卒業を果たし、卒業論文でも最優秀賞に輝いたことが報告されると、会場からは大きな拍手が送られました。札幌モニングRCに所属し、この日出席した米山学友の藤字龍さんは、「卒業した米山奨学生たちが、それぞれの道で国際社会に貢献してくれることを期待しています」と、後輩たちへエールを送りました。

6 マレーシア米山学友会 創立10周年記念総会開催

3月15日、マレーシア・スランパンにてマレーシア米山学友会の創立10周年記念総会が開催されました。当財団からは若林紀男理事長が出席したほか、日本からも多数のロータリー会員が集結。また、オンライン配信を通じて各地の米山学友も参加し、総勢50人が節日を祝いました。



式典は、会長の黄建榮さん（1998-2000 年東R.C.）の挨拶で幕を開け、若林理事長が祝辞を述べた後、活動報告や会計報告が行われ、終始和やかな雰囲気の中で進行されました。

総会に先立ち、前日にはスランパン博物館を訪問した後、現地の老人ホーム施設を見学。高齢化社会という課題に直面するマレーシアの民間施設を支援するため、同学友会から約7万円の寄付金が贈呈されました。夜には晩餐会が開催され、マレーシアの米山学友たちが伝統衣装「バティック」を、海外からの参加者もそれぞれの民族衣装を身にまとい、華やかな雰囲気の中で交流を深めました。

2016年の学友会設立時に39人だった会員数は10年を経て100人を超える規模へと成長しており、マレーシア米山学友会のさらなる飛躍が期待されます。



月	日	今後の例会予定
4	17	卓話 17F「コスモス」 有限会社ジャスティス 代表取締役 藤野直子様（名古屋名東ロータリークラブ）
	24	例会変更 4/21（火） 創立60周年記念式典 16F「タワーズボールルーム」
5	1	休会
	8	港友例会 17F「コスモス」
	15	例会変更 5/14（木）-15（金） 家族旅行会 能登復興支援『千の光、千の未来 プロジェクト』と和倉温泉旅行
	22	卓話 17F「コスモス」 愛知大学地域政策学センター研究員 （元愛知大学教授・元地域政策学部長） 新井野 洋一様
6	29	休会
	5	第3回クラブフォーラム 17F「コスモス」
	12	退任挨拶 16F「アイリス」
	19	休会
	26	休会

名古屋中央ロータリーアクトクラブ例会予定

4月度例会 「国際情勢について学ぼう例会」

日付	2026年4月24日（金）
時間	受付開始 / 19:15～ 例会 / 19:30～20:30
場所	今池ガスビル 7階 サファイアールーム 愛知県名古屋市千種区今池1丁目8-8 最寄駅：市営地下鉄東山線・桜通線「今池駅」 10番出口直結
登録締切	4月19日（日）まで
登録料	なし